

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

第2回目 12月初旬 10:00~10:30

康保会保育園

## 1. 活動のテーマ

〈テーマ〉

- ・色々な楽器の音を聞いてみよう
- ・楽器の音が出る仕組みを観察してみよう

〈テーマの設定理由〉

- ・楽器の音色や音の出る仕組みについて考察するために、演奏の様子を見る・聴いてみる

## 2. 活動スケジュール

令和8年2月5日 5歳児:19名

- ・実際に楽器を演奏し、楽器によって音色が違う事を知る
- ・音の出る仕組みを友だち同士で考え、楽器の成り立ちや素材などに興味を持つ

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

2Fひまわり組保育室

- ・小太鼓 ・大太鼓・キーボード ・グロッケン

## 4. 探求活動の実践

〈活動の内容〉

- ・楽器を並べ、順番に触れることで音の響きや音色を感じ合う。
- ・楽器を演奏する時の力の入れ方や指先の使い方などを観察する。

〈活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者とのかかわり〉

始めに保育者が演奏方法を説明し、小太鼓→大太鼓・キーボード→グロッケンの順に実際に音を出した。太鼓類は種類や大きさ・音の響き方について、鍵盤類は音階を基本として弾く・バチで叩いて演奏をする。

などの違いについて子どもたちに問いかけながら一緒に観察をした。

太鼓を実際に叩くと、「小太鼓は音が跳ねる感じ！大太鼓はお腹に響く感じ！」など声が上がっていた。鍵盤類では特にグロッケンへの興味を持つ子が多く、きれいな金属音の音色を出してみたいと言う声が多く聞かれた。強く叩きすぎると耳を塞ぐ子も見られ、力加減について説明をし、どのくらいの強さがきれいな音に繋がるのか一緒に考えた。

## 〈活動中の様子〉



## 5. 振り返り

### 〈振り返りによって得た保育士の気づき〉

- これまでにリズム時間に鍵盤ハーモニカ・木琴を取り入れていたこともあり、楽器の扱いに慣れていた。今まで演奏したことのある楽器との違いも含め、音の触れ合いを喜ぶ子どもたちであった。
- 音階を覚えていることで、音を出すだけでなく曲を演奏する楽しさも一緒に感じる事も出来た。
- 太鼓類に関しては、バチの叩き方で音の強弱に繋がることに気づく姿が見られた。
- 今回は各楽器の音を楽しむ内容になった為、合奏の楽しみを次回は味わっていきたい。